

患者様及びご家族の皆様へ

当院は名古屋大学腎臓内科の関連施設の一つであり、日ごろから様々な分野において共同研究を行っております。今回は、腎臓病の診断・治療・予防法の確立を目指した研究として、腎臓病の患者さんの診療データを収集し分析する、「日本人患者における腎臓病の診療実態に関する観察研究」に当施設も参加することになりました。この研究では患者さんから新たに血液や尿などの生体試料を採取することなく、診療の実態をありのままに収集し、分析を行うので、患者さん一人一人へのご説明・同意取得は行ないません。診療記録については、連結可能匿名化を行うことで個人が特定できない形で情報を抽出して解析を行います。

過去の診療データについて、使用されることを望まれない場合には当院のスタッフにその旨をお伝えください。研究計画の概要は以下のようになっております。詳細については名古屋大学腎臓内科ホームページを参照してください。

研究課題名	日本人患者における腎臓病の診療実態に関する観察研究	
研究組織	研究責任者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 准教授 丸山 彰一
	研究分担者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部附属病院腎臓内科 特任講師 加藤 佐和子 病院助教 勝野 敬之 医員 今泉 貴広 医員 永田 高信 医員 尾関 貴哉 医員 菱田 学
	共同研究者 (所属・職名・氏名)	豊橋市民病院 腎臓内科 部長 山川 大志 他 常勤医一同
	研究事務局 (機関の名称・住所・連絡先)	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 TEL: (052) 744-2192 / FAX: (052) 744-2209
研究の意義・目的	腎臓病の診断・治療・予防法の確立	
主な選択基準	当院で加療中の腎疾患患者（高血圧、糖尿病、腎炎、膠原病などの危険因子を持つ患者を含む）	
研究方法	本研究では腎疾患患者の診療実態を明らかにするため、臨床情報の匿名化データベースを作成し、重要な因子を探索する。	
研究期間	倫理委員会承認後～2019年7月31日 ※再度倫理委員会の承認を経て、延長される可能性があります。	
インフォームド・コンセントの方法	同意を取得しない。	

個人情報の管理体制（個人情報管理者、連結表の管理体制等）	連結可能匿名化し、データベース化する。個人情報管理者は名古屋大学腎臓内科坪井直毅、豊橋市民病院腎臓内科山川大志。
研究で収集した試料・同意書の保管場所、研究終了後の試料の取扱い	豊橋市民病院では該当しない